

青少年健全育成茨城県推進大会で多くのものを持ち帰っていただきました

近年、家庭・地域社会における教育力や社会全般にわたる規範意識の低下などから青少年を健全に育成するうえで、様々な課題や問題が生じています。

このため、茨城県、青少年育成茨城県民会議、青少年育成市町村民会議は、親や大人、家庭のあり方、子どもへの関わり方、また、家庭、学校、地域の役割と相互の連携の仕方などについて考え、青少年の健全育成に向けての理解を高め育成活動の一層の推進を図るために青少年健全育成茨城県推進大会を開催しています。

中学生の主張発表や地域での実践活動発表、講演で構成した本年度の大会には、1,600名もの青少年育成関係者やP T A・学校関係者、県、市町村関係者、子どもの育ちに関心のある県民の方々の参加をいただきました。



所 功雄 青少年育成茨城県民会議会長あいさつ

参加者からは、

中学生の主張発表を聞いて「今の中学生の考え方が立派で発表も堂々としていて感激した。今日の発表を家族や部活の生徒に話してみたい。」

また、実践活動の発表では、「地域での真剣な取り組みに感動した。自分たちももっと力を入れ活動したい。」「子どもが学ぶ場は学校だけでなく、地域で学ぶことも大切だと知った。今度は、子育てを手助けする側になって活動したい。」

講演では、「親が変わるとは、どのようなことなのか分かった。」などといった多くの感想が寄せられ、家庭、学校、地域に多くのものを持ち帰っていただくことができた大会でした。



県内各地から参加をいただきました



橋本 昌 茨城県知事あいさつ

〈大会概要〉

主 催 茨城県

社団法人青少年育成茨城県民会議
青少年育成市町村民会議

日 時 平成19年2月14日(水)10:30~15:15

場 所 ひたちなか市文化会館 大・小ホール

参加者 青少年育成関係者 P T A・学校関係者
青少年育成地域活動団体 県・市町村関係者
一般県民等

内 容

- 中学生の主張発表
- 親が変われば、子どもも変わる」運動実践活動発表
- 地域親実践活動発表
- 講演

中学生の主張発表

平成18年度少年の主張茨城県大会では、17,660名の中学生の中から選ばれた10名の中学生が発表しました。

この大会で県知事賞、県議会議長賞、県教育委員会教育長賞を受賞した3名の中学生が発表しました。

茨城県知事賞「苦しい時は前進している」

仁平 裕一(筑西市立下館中学校3年)

茨城県議会議長賞「勇気について考えること」

萩野谷 大志(水戸市立双葉台中学校2年)

茨城県教育委員会教育長賞「母の一言」

寺内 理美(土浦市立土浦第一中学校3年)



主張発表者と橋本県知事 来賓の皆さん

主張発表文は、ホームページでご覧になれます。